

2014年同窓会 あおい会・総会・懇親会

会場 ホテル・テラスザガーデン水戸(6月21日、土)



同窓会 あおい会に出席
当番幹事 本宮 昭54・音
由美(村山)

電車でお越しの方には大変便利でした。私は受付を担当。卒業年度

今回は卒業してから3回目の当番幹事でした。毎回打ち合わせで学校を訪れる度、自分が通っていた頃を懐かしく思い出しながら、セーラー服姿の学生にあの頃の自分の姿を重ねていました。今回の会場の「ホテルテラスザガーデン」は水戸駅南口の通路から直結の所にあり、

毎に分けられていた受付の前で迷われていた方にお友達からの「サバ読まないでね!」に笑いが出たり、同級生との久しぶりの再会を喜び合う場面があちこちで見られました。同窓会・平成26年度総会は事務局長の栗田様の進行、当番幹事の大森様の開会の言葉ではじまり、会長、校長挨拶、来賓紹介、来賓の武田茂子先生のご挨拶：次に総会に入り、各項目の報告、役員紹介等がありました。

入野副校長から「学校よりのお願い」として、100周年に向けて昔学校生活の中で使用されたり身に着けていらした、歴史を感じられるような品をお持ちの方からのご協力をお願いしたいことや、あおい会館の看板等についてのお話がありました。続いて旧職員の山崎康史先生の音頭で「乾杯!」。

懇親会では、美味しいお料理を堪能したあと余興へ。最初は28年卒の佐藤美幸様のご厚意で「花は咲く」を歌いながら各自右手の

茨城県立水戸第三高等学校同窓会
あおい会
だより
第19号

発行所
〒310-0011 水戸市三の丸2-7-27
茨城県立水戸第三高等学校
同窓会 あおい会
TEL 029-224-2044
FAX 029-225-4524
URL <http://www.mito3-h.ed.jp/>
Eメール aoikai@mito3-h.ed.jp
印刷所 株式会社 きど印刷所

あと左手を横に広げ、両手で頭の上にハートの形を：胸の前で花の形を：と会場全体がとても和やかな雰囲気になりました。次は当番幹事の学年で、59年卒業の北見優子様のナレーションを入れながら「校坂」「翼をください」の合唱。続いて全員で校歌を斉唱。水戸市立高等女学校・現校歌を歌いながらふと、最初の当番幹事の時に思い出された現校歌の作曲者でもある今は亡き小方弘先生のお姿が浮かんできました。最後は再び山崎先生の音頭で「フレイ! フレイ! 三高!」の掛け声と拍手をもって全ての日程が終了しました。ご出席下さった皆様、ご協力ありがとうございました。学校関係の皆様、本当にお疲れ様でした。今回ご一緒した当番幹事の方と「次の当番幹事の時に又お会いしましょうね。」と約束して会場をあとにしました。

参加者148名でした。



会場の様子



山崎康史先生



入野洋一先生



武田茂子先生



受付



佐藤美幸校さん



当番幹事ナレーション北見優子さん



水戸三高・心を育んだ母校

常任幹事 小貫 早苗(磯崎)
(昭45・普4)

朝もやみどり かすめつつ
なんて美しい響きなんでしょう。

「同窓会 あおい会」で合唱する度に、胸に熱いものがこみあげてきます。

卒業以来、訪れる機会がなかった母校へ、同窓会あおい会・当番幹事の会議に出席する為、40年ぶりに旧友と来校しました。正門から足を踏み入れると、立派になった校舎、体育館、当時のままの姿のあおい会館が私達を迎えてくれました。時の流れを感じた一瞬でした。

昭和42年3月、放火による校舎の消失で緊張しながら水戸一高で受験したこと、胸おどらせて入学したもの、1年7ヶ月間のプレハブ校舎での学生生活、雨音で先生の声がかき消され授業にならず早々と下校したこと、冬はストーブ使用で教室の中が乾燥しないようにバケツで床に水をまいたことなどが、走馬灯のように浮かんできました。今の時代では想像がつ

かないことでしょう。

このような学生生活ではありましたが、3年間に在席したJRC(青年赤十字奉仕団)では、林海学校の生徒達と寝起きを共にしてお姉さんぶりを発揮したり、乳児院訪問では、保母さん(現・保育士)

ご挨拶

から子育ての大変さを学んだり、数多くの体験をしました。今となつては、懐かしい思い出です。

ライフワークになっています「歯科衛生士」の仕事は、恩師からのアドバイスによるものでした。その当時は、将来の職業を模

索して悩んでいた頃でした。こんなにも長く一つの仕事を続けてこられたのは恩師との出会いのお陰と感謝しています。趣味の緑岡卓球サークルでは今は亡き石井英忠



ごあいさつ

学校長 齋藤 文夫

新緑の候、あおい会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、加藤会長様をはじめ会員の皆様には、本校の教育振興のために格別のご支援を賜りまして、心から御礼を申し上げます。

先生とご一緒に汗を流す機会がありました。

人生の岐路に立った時、必ず支えてくれる人がいます。人との温かい出会い、感謝する心を大切に日々を過ごしていきたいと思っています。

伝統ある、水戸三高・同窓会あおい会と母校が益々発展するように会員相互の絆で盛り上げていきましょう。

さて、今春卒業した304名の

三年生は、去る2月27日に、あおい会役員の方々のご臨席の下、「あおい会」に入会させていただきました。

また、3月1日の卒業式では、それぞれの進路での活躍を誓うとともに、保護者への感謝の気持ちを表しながら本校を巣立っていきました。会員の皆様には、折りに触れて新会員のご指導をいただければ幸いです。

なお、4月7日には、新たに、普通科241名(内、男子2名)、家政科40名、音楽科26名(内、男子2名)の新入生を迎えることができました。本年度の生徒の在籍数は、男子16名、女子894名、合計910名となります。

ここで、学校内外の変化についてお知らせいたします。昨年度末に、1号館(管理・特別教室棟)の耐震補強工事が終了し、外壁が水戸二中の白壁塀と同系色の白色になりました。また、通称ロマン

ス坂とベトナム坂が拡幅整備され、国道51号線からの一方通行が解除となりました。これにより、学校周辺の車の流れが大きく変わるものと予想しています。今後、「弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくり」の一環として、三

高の周囲とテニスコートの側面に白壁塀が設置され、音楽棟も白色に塗り替えられる予定です。なお、体育館側の白壁塀工事は、既に終了しています。

このように、本校周辺は、平成28年度に迎える創立90周年を祝うかのように、水戸城跡の歴史的景観と城下町の趣が感じられる学校に様変わりします。生徒たちも学校所在地の歴史の重みを自覚し、自己の目標達成に向け、より一層勉学に励むことと思います。

結びに、あおい会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたします。あいさつとさせていただきます。



恩師 特別寄稿

潤いの学び舎

高橋 綾子(体育)



昨年、昭和38年に卒業された3年3組のクラスの古

稀を祝う会にお招き戴きました。卒業後51年を経た嬉しいクラス会の集いでした。その時の様子を、拙い私の短歌で一部御紹介します。

◎今日までは皆同じ生徒よ巣立ちゆき人生如何にと涙こぼれし

(卒業式)

◎来し方の苦の影見せず前向きな今を語りて皆気丈なり

◎苦も楽も話せる友とお互ひに越へ来し歳や面の優しき

◎学び舎を語り合ふ時輝ける瞳となりて心は一つ

◎古稀なれど余生まだまだしなやかに時の流れを越せよと祈る

◎吾かこむ写真届きぬ弾む声輝く面の浮かびて愛し

皆様、卒後過ごしてこれらた人生は、順風な道程ばかりではなかったと思います。しかし、三十余名の面ざしは優しく、乗り越え

られた事を語り合い、何時の間にか50年前の乙女の姿に戻っていました。誰でも、学び舎の友は、一生の宝と確信いたしました。

顧みますと、私が三高にお世話になったのは、昭和31年の秋から43年の春までの約12年間でした。その間、まことに得難い幸を戴き、有意義な充実した時代を過しました。

先ず教職員の皆様が穏やかで、心一つにして教育に携わっておられた事と、それを受けとめる純真な生徒達であった事と重ねて、まことに良い環境の中で過せた12年間でした。またこれは、生徒の皆様にとりまして、人間形成の育まれる時代に、何かと影響のあった事と存じます。

クラブ活動の中でも得難い経験をさせて戴きました。当時、教頭の鷺和夫先生と国語の高橋正利先生のもとに、県内女子高校に珍しい山岳部が出来ました。毎年、夏休みに、始めは上高地から蝶ヶ岳、常念岳、八つ岳、至佛山から尾瀬ヶ原、白馬岳、仙丈岳等同行いたしました。山岳部の他に野外活動として、磐梯山、蔵王山、草津白根山、尾瀬ヶ原等同行して、自然の厳しさと美しさを生徒達と共に体験出来たのも懐かしい思い出となつて

おります。

又、女の先生方で当時の教頭の朝倉先生に油絵を教えて戴く一方で家庭の松本静子先生の所屬しておられた短歌誌「沃野」に入会してお互いに研鑽を積みました。これ等は、物の見方、視野を広めるという意味からも、得難いものになったと思います。

私は三高の勤務から、県教育庁に移り、昭和49年に本県で開催された国民体育大会に携わって参りました。開閉会式に行なわれる集団演技の責任者となりました。この集団演技は、全国で初めて小中高生、一般の方々が一体となった一大ドラマとして演じられ、絶賛を受けました。この構想こそ三高時代の潤いから生まれました。

三高を離れ47年になりますが、私にとりまして心の学び舎と思っております。短歌からも離れていましたが、4年前に、菅寿子先生、海老原トミ先生、柳澤(南)先生のお誘いで復帰いたしました。今は楽しい生き甲斐となり、良き友に感謝しております。

懐かしい校舎の面影はなくなりましたが、潤いのある心を持つている「あおい会」があります。三高のよき伝統と灯がいつまでもと願っております。

(昭和3年8月12日制定)
水戸市立高等女学校校歌葛原 しげる 作詞
小松 耕 作 作曲

一 闇にも著き 梅が香の

その気高きや 床しきや

万の花に 先がけて

薫る強きや 健気きや

水戸に磨きて わが鏡

光いやます 幸あるわれら

二 朝日の森の 朝夕に

何祈りなむ 誓ひなむ

御国の矜 両公の

遺訓かしこみ 学びなむ

進み行く世に 遅れじと

希望豊けく 励まむわれら

三 日に夜に海へ そそぎゆく

わが那珂川の 流れにも

たゆまず倦まず そのつとめ

つくす尊き 力あり

身をも鍛ひて 女子の

つとめつくさむ 栄えあるわれら

一 暗闇でも梅の香りははつきりと

わかる

梅の花の何と気高く奥ゆかしい

ことか

寒さに負けず、どの花よりも

真つ先に

花を咲かせ薫る梅の 何と強く

けなげなことか

ここ水戸の地で自分という鏡を

みがいて

ますます輝く 幸せの多い私達

二 朝日の美しい学舎の 朝な夕な

に

何を祈り 何を誓うべきなのか

我が国が誇る水戸の名君、義公

烈公(光圀と斉昭)の

残された教えを尊んで 学ぼう

進歩する社会に遅れまいと

豊かな希望を持って私達は励ん

で行こう

三 昼も夜も海へ海へと

注ぎ続ける

日頃から親しんでいる那珂川の

流れには

なまけたりいやになったりせず

自分に与えられたつとめを

精一杯成し遂げようとする力がある

その那珂川のように自分を鍛えて 女子としての

つとめを尽くそう 栄光の市立

高女の私達

(文責 宮田)

クラス会①

昭38年・普③

中野 満利子

卒業して、半世紀以上が過ぎ、『昔の女子高生』も古稀を迎える年に、約10か月前から企画をし新年の賀状にも書き加え、予定をしてね。と、

平成26年5月24日(土)、京成ホテルで恩師の高橋綾子先生(86才)にご臨席頂き、クラス54名中30名の出席で4名の方が亡くなられました。

先生から、古稀の御祝品を頂き、節目の素晴らしい70才の年になり、あおい会の皆様に大勢の参加者のクラス会を自慢したく、寄稿いたしました。それから、クラス会後に私宛の礼状他、をお書き下さった皆様の様子で、盛会にでき喜んでいる仲間をご想像下さい。

(高橋綾子先生の短歌)

・あの生徒等が古稀になりしか
クラス会 弾む声満ち歳月忘る
・今時の古稀は若くて面影に 乙
女忍ばせ 個性も消えぬ(参加者の礼状)

待ちに待った日でしたが、私達はおいしい食事と、楽しい会話で本当に学生の気持ちに戻りました。感謝です。(ひたちなか市A



・T

18才の時から50年以上が経ち、綾子先生と一緒にニコニコ笑っている写真がありがとうございました。感激で一杯でした。(那珂市M・A)

時折、電車内でクラス会帰りのグループを目にする度に、羨ましく眺めておりましたが、今回お元気になられた先生のお姿を拝し、また沢山の友にお会いすることができ、夢のような一日でした。皆様の歩んで来られた元氣印の人生を胸に、またお目にかかれる日を楽しみに頑張りたいと思っております。(東京都 S・I)

不参加の私の方まで、皆様の写真を送って頂き恐縮致しております。綾子先生もあの優しい顔立ちでおばあちゃんになられましたね。すぐわかる方、名簿を見比べればしばらく見入っていると、あー、そうだな、と生でお会いしている様に胸がドキドキしました。老夫婦見守り役で暮す毎日です。デジカメで写し直しパソコンで大画面

にして時に見たい
と思っております。

(佐倉市 K・S)

幹事という大

役、本当にご苦労

様でした。写真の

お顔と旧姓とを何

回も何回も見直し

ては長い年月の経

過をしみじみと

実感しております

す。何よりも綾子

先生がお元氣な様

子に安心致しまし

たし、皆様の幸福

そうなお顔も拝見

できて、とても良

かったです。次回

は出席したいと今

から楽しみにして

います。(常陸太

田市 S・K)

孫との約束で運

動会を優先して出

席できず残念でし

たが、写真を送っ

て頂き、なつかし

く涙がこぼれ、時

も忘れ写真を見て

おりました。(常

陸大宮市 F・

O)



筆者は前列左から4人目

クラス会②

恩師7回忌のクラス会

昭37年・家

小沼 佳子他

「今年は担任の鈴木房子先生の7回忌ね」ということから、先生の命日に近い10月21日(火)に日取りを決め、水戸市近隣に住むクラスメートに声をかけました。

15名が水戸京成デパートの9階に集い、先生の遺影を囲んで思い出話に花を咲かせました。

お住まいだった五軒町の辺りから今でも温かく私たちを見守っていて下さると信じています。

そのような先生に出会えたことに感謝し、ご冥福を祈りながら散会致しました。



ときのひと

私の原点

『月刊みと』の編集に携わって

昭60・普60
澤畑明美(上田)

春になると思い出すのは、高校の入学式の日に見た風景です。校門の前に立った私の目に入ったのは、満開に咲く桜。そしてその下を歩く真新しいセーラー服の美しいこと。これから過ごす高校生活への期待に胸膨らませたことを、今も鮮明に覚えています。

私が高校生だった頃は、今で言う『80年アイドル時代』。松田聖子さんをはじめ、多くのアイドルが誕生した時代です。当時、松田聖子さんがしていた髪型『聖子ちゃんカット』が大流行し、三高

生の間でも『聖子ちゃんカット』の子がたくさんいました。ブローが命の『聖子ちゃんカット』でしたから、ある先生が「君たちの髪が乱れているのはテストの日ぐら

いだね」と言ったほど、毎朝、がんばってドライヤーとロールブラシでセットしていたようです。私も一度だけチャレンジしてみましたが、うまくブローできず聖子ちゃんというよりただのおばちゃんへアになってしまい、友達に大笑いされました。

当時、「水戸の流行は三高生から」と言われたとか。確かに周りにはオシャレな子がたくさんいて、次から次へと新しい情報が入ってきました。勉強した記憶はほとんどありませんが、キラキラした楽しい日々の高校生活は私にとって宝物です。

現在、水戸周辺を中心にした情報誌『月刊みと』の編集をしています。今年3月、創刊500号を迎えた雑誌ですが、気づけばその半分以上の編集に関わってきました。記事の内容を決めるところから始まり、情報収集、取材、原稿書き、校正(原稿チェック)を経て印刷し、本に仕上げます。取材

は茨城県全域へカメラと取材ノートを持って出かけています。たまに、編集者になるにはどうしたらよいかという質問をされる事があります。文章力はもちろんですが、私は必ず「好奇心を持ち続ける事」と付け加えます。新しいこと、面白いこと、そして役立つ情報をいつもキャッチしなければ雑誌はできないと思うからです。私の好奇心は、あのキラキラした楽しい日々で培ったもの。三高で過ごした3年間が、今の私の原点です。そしてこれからも好奇心を持ち続け、本を作り続けたいと思っています。

全国の高校生による文化の祭典「第38回全国高等学校総合文化祭 いばらき総文2014」が7月27日から31日まで、茨城県内17市町村で開かれました。本校では総合開会式をはじめ、コーラス部・書道部・演劇部・文芸部・JRC部・吟詠剣詩舞が、ステージ発表や作品展、大会運営委員として活躍し、大会を盛り上げました。

コーラス部は、茨城混声合唱団、スタッフとして活躍。



第38回 全国高等学校総合文化祭 いばらき総文2014
【合唱部門】 茨城県立水戸第三高等学校 同窓会 あおい会
[2014年7月27日 午後1時～5時]
会場：茨城県立水戸第三高等学校 大ホール

「いばらき総合文化祭」 三高生の活躍

全国の高校生による文化の祭典「第38回全国高等学校総合文化祭 いばらき総文2014」が7月27日から31日まで、茨城県内17市町村で開かれました。

書道部は、県代表として作品が展示されました。

演劇部は、開会式後のパレードのアナウンスと、放送部門のアナウンス、朗読部門で進行係を担当しました。

文芸部は、生徒実行委員長、副委員長、総司会、スタッフを担当し、また、俳句部門の代表者としても活躍しました。

JRC部は、生徒実行委員として、ボランティア部門のスタッフを担当しました。

吟詠剣詩舞は、素晴らしい舞台発表をしました。

総合開会式では、総合開会式・パレード委員会の副実行委員長として、企画立案から運営まで積極的に携わり、式を大成功に導きました。(事務局)



尚同窓会あおい会から御協力をいただき、合唱部門プログラムに記載されました。

学校の状況

平成26年度進路状況

今年度の卒業生には、新教育課程への移行期間にあたり、入試制度が大きく変わりました。予測できないことも多く、苦戦を強いられることが予想されましたが、3学年を中心とする一丸となった指導により、国公立大学の合格者が延べ41人と過去最高を記録しました。茨城大学に21名、県立医療大学に4名の他、岩手県立大学、愛知県立芸術大学、長崎大学、琉球大学と全国各地の大学に合格しているのが特徴です。また音楽科は東京藝術大学をはじめ、5名の生徒が国立大学に合格するなど大健闘しました。私立大学においても、津田塾大学、中央大学など難関大学に合格しています。就職については、公務員は茨城県警、県職員、自衛隊、民間企業では日本郵政株式会社など雇用情勢

26年度の合格者数

国公立大学	41
私立大学	340
短期大学	28
専門学校等	81
就職	7
進学・就職準備	6

が厳しい中、見事進路希望を実現させてくれました。

〔国公立大〕

茨城・茨城県立医療・東京藝大・岩手県立・愛知県立芸術・長崎・琉球・首都大学東京・福島・宇都宮・都留文科他

〔私立四大〕

津田塾・中央・東京女子・法政・日本・東洋・専修・獨協・文教・神奈川・常磐・茨城キリスト他

〔短大〕

日本大短大・常磐短大他

〔専門学校〕

水戸医療センター看護・県立中央看護・つくば看護他

〔就職〕

日本郵便・TBCグループ・茨城県職員・茨城県警・自衛隊他

同窓会あおい会 クラス幹事

(平成27年3月卒業)

組	氏名	氏名
1	川上 桃子	深谷 栞里
2	綿引 真菜	金子 美優
3	梅津亜莉紗	福田 優菜
4	所 桃菜	八幡 明織
5	菊池なつみ	大和田彩乃
6	加藤 瑠奈	荒井 琴乃
K	加藤佐智恵	三田寺未歩子
M	佐藤絵梨加	飛田 遥香

新会員304名

2016年 水戸三高同窓会「あおい会」 同窓会 あおい会総会・懇親会のお知らせ

日時 平成28年6月12日(日)
受付 11:00～
総会 11:30～12:00
懇親会 12:00～14:00
会場 ホテル レイクビュー水戸
電話 029(224)2727
水戸市宮町1-6-1
会費 6,000円



クラス幹事から「同窓会のお知らせ」が届く事になっています。

参加ご希望の方は、5月20日(金)までにクラス幹事を通してお申込み下さい。同窓会参加について詳しく知りたい方は、事務局へ問い合わせるか、又は「水戸三高ホームページ」あおい会事務局専用メールアドレスをご覧ください。

※注意※ 参加申し込み後、都合で出席できなくなった場合は、必ず6月5日(日)までに事務局へご連絡下さい。(連絡なく当日欠席の場合は会費をご送金いただくことになります。)

今回の同窓会運営、進行に当るクラス幹事は下記の学年です。

昭和41年、46、51、56、61、平成3年、8、13、3月の卒業生です。

水戸三高同窓会あおい会事務局

TEL 029-224-2044 FAX 029-225-4524

ホームページ <http://www.mito3-h.ed.jp/>

事務局専用メールアドレス aoikai@mito3-h.ed.jp

校内の事務局員先生方

栗田(照沼) 誉子…英語科 岡本(富田) 庸子…音楽科
宮田(宮田) 桜子…音楽科 深澤(深澤) 昌美…家政科

創立90周年記念同窓会あおい会の「会員名簿」の購入・変更等は事務局までご連絡下さい。

編集後記

日本遺産に認定された水戸藩弘道館を背に大手橋に向かうと、左手に斉昭公の像、橋を渡ると頼房公の像が目に入ります。江戸時代にタイムスリップした感じで歩を進めると、大日本史編纂の水戸彰考館が復元されていて、両側の白壁が続くあたりからは、颯爽と水戸志士が現れて来そうな、そんな歴史ロードが整備されつつあります。以前とは違って変わった三高周辺を楽しみながら、久々に母校を訪ねられてみてはいかがでしょうか。

編集委員 宮田満里子

小沼 佳子 吉成 隆一
宮田 桜子 小貫 早苗
深澤 昌美

あおい会同窓会・役員一覧

顧問 石井(飛田) 千代乃

会長 加藤 菱 沼 正子

副会長 宮田 大 沼 満里子

常任幹事 小宮 隆 一口 里 恵

大 山 貴信 伊崎 早苗

小 所 山 貴信 伊崎 早苗

吉 岡 寛 友 靖 子

軍 司 岡 寛 友 靖 子

興 野 司 岡 寛 友 靖 子

中 野 谷 徳 須 子

監事 草川 徳 須 子

謹弔(元あおい会副会長) 野沢さわ様(平成27年1月)

謹弔(恩師のご逝去) 石井 英忠先生(平成27年5月)

本堂 清文先生(平成27年5月)